

東海鉄道OB会報

第14号

平成20年7月



浜名湖付近を走行中のN700系

目次

| | |
|--|----|
| 平成二十年春 東海鉄道OB会会長表彰式及び総会開催…………… | 2 |
| 平成二十年度 東海鉄道OB会基本方針…………… | 3 |
| 東海鉄道OB会臨時総会開催…………… | 3 |
| 地本・支部だより | |
| 「名古屋東支部総会」開催 懇親会でピアノコンサート | 4 |
| 名古屋東支部事務局 伊藤典男…………… | 4 |
| 第六回 東海大阪地方本部ゴルフ大会の開催 東海大阪地方本部 施設支部事務局 辰巳俊彦…………… | 4 |
| 三島市立公園楽寿園内に展示のSL清掃奉仕に対し、 三島市長から感謝状を授与 三島支部 顧問 大川一雄…………… | 5 |
| 多治見駅の「さわやかウォーキング」で 案内・誘導 陶都支部長 齊藤 懐…………… | 6 |
| 一枚のハッピが意欲を盛りあげた 袋井支部 鈴木不次男…………… | 6 |
| 南紀「三段壁」と白浜温泉の旅 四日市支部事務局長 岡村昌夫…………… | 7 |
| 鉄道博物館の旅 沼津支部長 一見高大…………… | 8 |
| 二〇〇八年春さわやかウォーキング 「みんなで歩こうなごやの道」第二〇回 記念旅まつり名古屋二〇〇八開催イベン ト」のコース案内に参加して 名古屋東・守山・名城東北支部連合…………… | 8 |
| 「さわやかウォーキング」で 地元OB会会員が道案内と地元の歴史紹介で後援 恵那支部 西尾 功…………… | 9 |
| 東海鉄道OB会 静岡地方本部総会開催 静岡地方本部事務局長 白井 康雄…………… | 10 |
| 平成二十年春の生存者叙勲受章者…………… | 10 |
| JR東海トピックス…………… | 11 |
| グループインフォメーション…………… | 14 |
| 読者のひろば…………… | 16 |
| 駅探訪／「会報」への寄稿、 文芸欄への投稿「要領」編集後記…………… | 20 |

平成二十年度東海鉄道OB会 会長表彰式及び総会開催

東海鉄道OB会は、五月二十日(火)平成二十年度会長表彰式及び総会を名古屋マリオットアソシアホテルで開催しました。

会長表彰式及び総会には、ご来賓としてJR東海からは石塚代表取締役副社長を始め、坪内総務部長、小出総務部総務課長、JR貨物からは瀬山取締役東海支社長の皆さま、また東海鉄道OB会からは齋藤会長を始め、副会長(各地方本部長)、専務理事、会計監査員、各地方本部事務局長及び各地方本部の代議員十五名と会長表彰を受賞する支部・会員が出席しました。



○表彰式

表彰式では、東海鉄道OB会に地道な努力を重ね、OB会の発展に貢献された四団体の代表と個人三十名の方々に会長から表彰状と副賞をそれぞれ授与し、その労をねぎらいました。

会長表彰受賞者は、次のとおりです。
(以下氏名敬称略)

一 特別功労章

特別功労章は、OB会の運営、発展に大きな功績があり、他の会員が等しく認めている方に対して贈る最高の荣誉で、本年度は次の二名の方です。



静岡地方本部
藤枝支部 清水 清策



名古屋地方本部
伊勢支部 中村 豊



二 総合業績優良団体表彰

OB会の運営・発展のため多くの困難な課題に尽力し、優れた業績を挙げた団体に贈られる荣誉で、本年度は次の支部です。

名古屋地方本部 名古屋東支部

三 会員増強表彰

OB会の組織強化のため、会員増強運動を積極的に展開し、その功績が顕著な団体または個人に贈られるものです。

〔団体〕

静岡地方本部 身延支部
東海東京地方本部 車両支部
新幹線エンジニアリング分会

四 増収協力表彰

JR東海等の営業活動に協力し、その功績が顕著な個人又は団体に贈られるものです。

名古屋地方本部 垂井支部

五 特別個人表彰

現在、増田会員は支部の地区幹事、元地区副支部長としてOB会活動を積極的に行うとともに、身体に障害を持ちながら、第七回障害者国際技能五輪(アビリンピック)に七十七歳と高齢で出場し、見事三位入賞銅メダルに輝きました。

これらの地道な努力を称え、荣誉を贈るものです。
静岡地方本部 富士支部 増田 中夫

六 役員功労表彰

永年OB会の役員として、それぞれの組織の発展に功のあった方に対し、その功績に対して贈られる荣誉です。

〔静岡地方本部〕

御殿場支部 熊谷 仁 裾野支部 小澤 末廣
三島支部 武井 秋雄 三島支部 遠藤 喜一
富士支部 阪野 元明 身延支部 二宮 秀雄
金谷支部 増田 毅平 菊川支部 野中 寿郎
磐田支部 鈴木 正雄 飯田支部 小木曾伸三郎
上伊那支部 雙松 繁一

〔名古屋地方本部〕

三河支部 近藤 一 名古屋東支部 伊藤 典男
名城東北支部 横井 光雄 名古屋機関区支部 永墓 克巳
稲機支部 今井 隆 山東支部 勝居 理
美濃矢田支部 星谷 成美 高蔵寺支部 長田 英男
陶都支部 金森 繁 恵那支部 西尾 和美
木曾支部 和田 一美 蟹江支部 立松 彦徳
津島支部 近藤 利勝 四日市支部 栗田 正雄
津支部 森 一義

〔東海大阪地方本部〕

運輸営業支部 吉村 潤治

○総会

続いて総会に移り、会議に先立って平成十九年度中に亡くなられた会員に対し、全員で黙祷を捧げご冥福を祈りました。

続いて、ご来賓と役員との紹介を行い、齋藤会長からは、東海鉄道OB会の現状と課題として、全国OB会の組織改編の経緯、会員減少の構造的要因をあげ、今こそOB会の旗の下、人生の大切な時期を共有して来た「職縁」を大事にして、豊かなOBライフを皆で築こうとの呼びかけがありました。

また、今回JRに決めて戴いた退職者のOB会入会支援措置を最大限生かすと共に、OB会活動の活性化のため、やることはすべてやるという決意で取り組むことが重要だと、挨拶を結びました。

また、JR東海の石塚代表取締役副社長は、JR東海の現状と将来、続いてOB会の増収・美化活動に対しての謝辞に続いて、OB会への激励の言葉を戴きました。

議事は、平成十九年度東海鉄道OB会事業報告、会員数の推移、平成十九年度東海鉄道OB会本部収支決算表についての説明と、監査報告があり、原案通り承認されました。

引き続き、平成二十年東海鉄道OB会基本方針案と、平成二十年東海鉄道OB会予算案について、主旨説明を行い、これも審議の結果満場一致で承認されました。

また、役員人事について報告があり、杉浦定行専務理事の退任に伴い中川博行専務理事代行が専務理事に就任しました。



平成20年度
東海鉄道OB会基本方針

1. 東海鉄道OB会の支部組織の見直しによる充実
 - (1) 地域支部の合併、新設等
 - (2) 職域支部の強化、新設
 - (3) 企業単位支部の新設
2. 会員増強、特にJR退職者の入会促進
 - (1) JR退職者の新規加入確保
 - (2) 女性会員への勧誘
 - (3) 会員名簿のデータベース化と維持管理
3. OB会活動の活性化と会員の福利厚生 の充実
 - (1) アンケート実施
 - (2) レクリエーション大会、講演会等の実施
 - (3) 表彰の実施
 - (4) 保険斡旋
 - (5) 会員に対する福祉
4. 東海旅客鉄道株式会社及び関連グループの事業への協力、特に増収活動の充実
 - (1) 旅行会の実施
 - (2) さわやかウォーキングの応援
 - (3) ○○祭り応援 (JR主催)
 - (4) 無人駅、SL等の清掃
 - (5) 踏切事故防止運動への協力
5. 情報網の整備と東海鉄道OB会報の充実
 - (1) 会報の充実
 - (2) 年金特別便等の配布
 - (3) インターネット活用
 - (4) ホームページ開設
 - (5) インターネット等講習会の実施
6. 財務基盤の強化
 - (1) 会費負担の適正化
 - (2) JRからの協力
 - (3) 企業の支援・協力

東海鉄道OB会の臨時総会開催

東海鉄道OB会は、会長交代に伴う臨時総会を、平成二十年七月四日(金)十一時から、ホテルアソシア名古屋ターミナルで開催しました。

臨時総会には、ご来賓としてJR東海から坪内取締役総務部長、長崎総務部総務課長のご臨席を戴き、また東海鉄道OB会からは、齋藤会長をはじめ各役員及び各地方本部の代議員十五名が、また、会長就任予定の(株)ジェイアール東海エージェンシー代表取締役社長石塚正孝氏、副会長就任予定で、先に東海鉄道OB会東海東京地方本部長に就任された今村 元氏が出席されました。

審議に先立って、冒頭に齋藤会長から臨時総会の主旨説明があり、続いてご来賓のJR東海の坪内取締役総務部長から、OB会の今後の発展を支援する励ましの言葉を戴きました。

続いて、議事に入り会長、副会長退任に伴う会長選任の件、副会長選任の件について趣旨説明を行い、審議した結果原案通り承認可決されました。

最後に、新旧会長の挨拶があり齋藤前会長からは、「OB会の節目の時期に貴重な体験及び経歴をさせていただいたこと、会員の減少に歯止めをかけるため、JR東海に画期的な体制を作っていたいただいたことに感謝するとともに、新しい体制でOB会活動を盛り上げて下さい」と挨拶されました。

また、石塚新会長からは、「前会長が築かれた体制を維持しつつ、明るく、楽しく、豊かなOB会にするためには、支部或いは地域単位で、そのニーズを組み入れた活動が非常に大切である。このOB会を、ひとつのファミリーとして考え、この存在を世の中のためになるよう、質的、量的にも発展させたい」と今後のOB会の在り方について決意を述べられて、臨時総会を終えました。

役員交代は次のとおりです。

| | | |
|-----|----|-------|
| 会長 | 就任 | 石塚 正孝 |
| 同 | 退任 | 齋藤 翁 |
| 副会長 | 就任 | 今村 元 |
| 同 | 退任 | 建守 猛 |

地本・支部だより

「名古屋東支部総会」開催 懇親会でピアノコンサート

名古屋東支部事務局 伊藤典男

昨年十一月に千種名東支部と鶴舞支部とが合併した名古屋東支部の最初の支部総会を平成二十年四月十九日十一時から、愛知厚生年金会館において開催しました。



JR東海から東海鉄道事業本部管理部総務課森藤課長代理、千種駅長、金山駅長、JR東海ツアーーズ千種支店長と、隣接する守山支部の竹田支部長の皆さまをご来賓として迎え、昨年度の物故会員のご冥福を祈念する黙祷をし、支部長挨拶の後にJRご来賓の

皆さまからJR東海の近況、今後の施策についてのお話を伺い、特に千種駅長から千種駅前の清掃、「さわやかウォーキングの応援協力」に感謝の言葉を頂きました。

次いで議事に入り、事務局から昨年度の経過報告、次いで支部長から本年度の基本方針が次のとおり提案され可決されました。

- ① 楽しくて明るい健康的な支部活動
 - ② 会員相互の連携特に情報網の整備
 - ③ JR東海及び関連グループへの協力
 - ④ 会員増強運動と名古屋市内各支部との連携強化
 - ⑤ 東海鉄道OB会報の活用と支部だよりの充実
- 以上の運動方針に基き、具体的な実施項目は、次のとおりです。

- ア 増収協力旅行 春、秋各一回
- イ 千種駅前清掃 十月十三日
- ウ さわやかウォーキング応援 六月一日

- エ 歩こう会 二回 オ 麻雀大会 二回
- カ 囲碁会 毎月 キ ゴルフ会 適宜
- ク カラオケ会 隔月 ケ カレンダー幹旋

なお、本年度の本部及び地方本部の基本計画に基づいて追加して実施する項目があることを説明しました。

以上で、総会を終了し懇親会に移りました。本年の懇親会は、第一回の総会を記念して、日大芸術学部音楽科ピアノコースを卒業され現在愛知県下でボランティアとして、又日本クラシック音楽コンクールピアノ部門の審査員を務めておられる「森さち子様」をお招きしてピアノコンサートを開催しました。

○演奏項目

- 「東海旅客鉄道株式会社社歌」「鉄道精神の歌」「24の前奏曲作品28より第7番イ長調」「ノクターン作品9-2」「故郷」「いい日旅立ち」「渚のアデリーヌ」「エンターテナー」「同期の桜」「蘇州夜曲」「川の流れのように」他九曲他アンコール曲

全員は、そのすばらしい演奏にうっとり、特に「東海旅客鉄道株式会社社歌」を聴くのが初めての会員ばかりでした。また、懐かしい「鉄道精神の歌」では大合唱となり、懇親会の時間を延長して盛会裡に総会を終了しました。

来年からの総会では何か企画をしなければいけないことになりそうです。

第六回 東海大阪地方本部ゴルフ大会の開催

東海大阪地方本部 施設支部事務局 辰巳俊彦

平成二十年四月十八日(金)に三重県「阿山カ

ンツリー倶楽部」に於いて、施設支部の幹事に
より東海鉄道OB会東海大阪地方本部ゴルフ
コンペを開催しました。

当日は残念ながら雨天での大会となりました
が、今回初めて参加される方を含めて三十四
名の参加を頂き、アウト五組、イン五組に分か
れ、九時三十分と同時にスタートしました。今回
のコースは第三回大会に於いても使用したコー
スでもあり、勝手知った者はここで多く叩いた、
あるいはバーディーをとったとか、終日雨天で
一時ガスがかかって先が見えないホールもあり
ましたが、
わいわいが
やがや楽し
いひと時の
ゴルフ大会
でした。

終了後
コンペルー
ムで表彰式
を行い、参加
者各位のご
支援により
無事終了す
ることが出
来ました。



上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- | | | |
|-----|--------|--------|
| 優勝 | 施設支部 | 渡辺 則夫 |
| 準優勝 | 施設支部 | 中尾 元昭 |
| 第三位 | 運輸営業支部 | 長谷川 秀和 |

三島市立公園楽寿園内に展示のSL清掃奉仕に対し、
三島市長から感謝状を授与

三島支部 顧問 大川一雄

昭和四十六年十月十九日から、三島市立公園
楽寿園内に展示されているSLに、三島支部は
毎年春秋二回清掃奉仕を続けてきたが、この度
市政三十七周年記念日に当たり、長年の清掃と、
維持活動に尽力し、楽寿園の運営に大きく貢献
したことにより、三島市長から感謝状を授与し
ました。

三島市立公園楽寿園内に展示されている
SLC五八三二二号の歴史は次の通りです。

昭和十七年七月

汽車製造KK製作

昭和二十年 長野で戦災

昭和二十三年～二十四年

富山第一機関区 七尾線

昭和二十四年～二十五年

日本海側 敦賀～東小浜 小浜線

昭和二十九年～三十六年

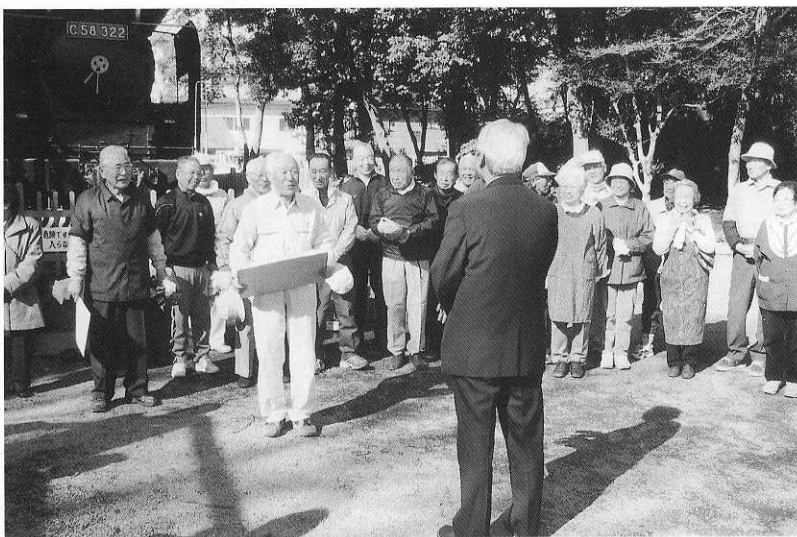
遠江二俣機関区 二俣線

昭和三十六年五月～四十六年

日本海側 敦賀～東小浜 小浜線
昭和四十六年 休車 引退

以来、鉄道OB会三島支部会員の清掃奉仕
は、今日に至っているが、四月十三日の三島支
部平成二十年度初例会には、三島市長がご来賓
として出席され、改めて支部会員の前で再度感
謝状を読み上げ、謝辞とともに大川支部長へ授
与されました。

これからも鉄道とOB会員の心を一つに結
んでいる、SL清掃奉仕活動を続けて行くこ
とを誓い合っています。



多治見駅の「さわやかウォーキング」で案内・誘導

陶都支部長 齊藤 懐

四月十二日(土)多治見駅主催のさわやかウォーキングが行われ、OB会メンバー八名が案内・誘導に参加した。

当日は、快晴、桜は花吹雪、たじみ陶器まつりも開催とあって朝早くから家族づれ等、続々と駅を降りてくる。丁度駅舎改築の真最中、駅前の歩行者通路は狭く、見通しは悪い。「出発点はどこですか」、「便所は」との問い掛けに答えながら、私たちもコース図を配り「おはようござ



「がんばってください」と声をかける。市中の地下道の誘導では「苦労さまです」と逆に声をかけられる。コースは、多治見駅↓陶彩の道↓滝呂中央公園↓たじみ

陶器まつり会場↓多治見駅の八・五キロと多治見駅↓たじみ陶器まつり会場↓多治見駅の二キロのキッズコースの二通り。

陶器まつり会場では、陶磁器販売や各地の物産など一五〇店が並び、また大道芸などイベントも盛りだくさん。

帰りは土産を手に、満足気に駅へと進んで行かれる。「お疲れさまでした」、「ありがとうございました」。

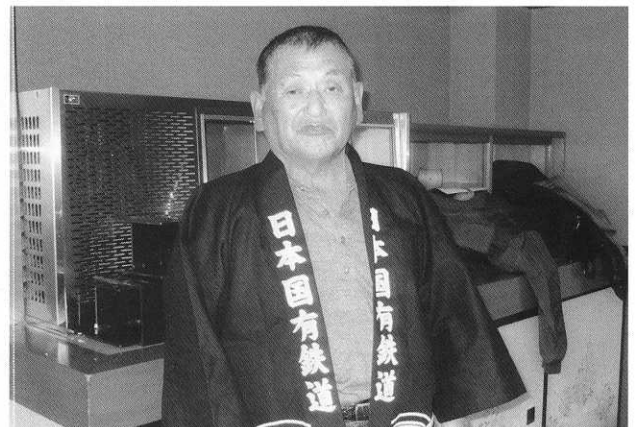
私たちも十分たんのうした一日であった。因みに当日のウォーキング参加者は三、二二二名、もちろん、駅長をはじめ駅のみなさんからは大いに感謝された。

一枚のハッピーが意欲を盛りあげた

袋井支部 鈴木不次男

例年のように、今年も総会を兼ねての新年宴会を開催しました。顔ぶれは新規加入者達に悲しい事はあるが、亡くなられた方が極めて多いことです。組織としては、一人でも多くの方が加入されるよう、支部委員一致して努力しているのが現実です。

今年、ある会員が昔、保線区員が使用していたハッピーを持ち込みました。しかもそれが新品です。一同驚きと懐かしさの気持ちで会場は



あふれました。盛り上がった時に夫々記念にと写真を撮りながら大変盛り上がりました。

私も今更ながら昔を思い出しました。あの懐かしさは一人強いものがありました。このハッピーは何年頃まで使われたのか…

それよりも何時になく盛り上がりました。そして、それが会員の増加に強く発揮されることを確信しました。然し今日までこのハッピーを保管されておられた会員に敬意をあらわしたいと思います。袋井支部は前にも述べましたが、会員の加入を一人でもという基本方針で進んでおりますので、このようなハッピーが発表され、それにより会員は勿論、未加入者も意欲を少しでももって下さる事を信じています。

OB会は、何んと云っても全員の加入を望んで努力しておりますので、これからもこのような会員の親睦の新規加入推進に力を発揮でき

ばと期待しております。現実を見ますと、未加入者が多くおります。その方々の視線をこちらに向けるためには、何か変わった方法も考えるべきだと思われました。

今年の総会(新年宴会)は、相当効果があったと思います。会員も組織拡大の意欲を強くいだいたものと思われれます。

南紀「三段壁」と白浜温泉の旅

四日市支部事務局長 岡村昌夫

年々高齢化する会員の方が、主に参加される恒例のJR増収協力旅行会であるが、行き先が限定され、企画する内容と参加者が、毎年減少している中で取り組みを始めた。

当初の計画には及ばないが、何とか大型バス一台分の四十名が集まって、開催できることになった。「早春の南紀方面へ」三月十日から十一日までの一泊二日のバス旅行は、今年もJR東海バスを利用して実施した。

出発の朝は、激しい雨と雪が混じる悪天候で心配されたが、お昼近くなると天気も回復してきた。

出発まもなく道路工事の影響で約一時間半程にわたる渋滞があったが、昼食後には、和歌山方面へ快調なペースで向かった。しかし、また

またトンネル内の事故に遭遇するという始末。道路の事情とは裏腹に、車内ではカラオケや談笑で、和気藹藹とした雰囲気での目的地「三段壁」には、約一時間程度の遅れで到着した。

柱状節理の断崖は、高さ五六十メートルの絶壁が、赤茶けた肌を見せて直立する。名前の由来は、昔、ここから漁師たちが魚の群を探したところから「見壇」と呼ばれ、それが転じて三段壁となったと云われる。先端の展望台から眺める太平洋の大海原と、地下三十八メートルの侵食で出来た洞窟へは、エレベーターで降りる。赤茶色の洞



窟内、一周四百メートルの通路では、打ち寄せてくる荒波の飛沫を全身に浴びるほどの圧巻がある。そして洞窟内に祭られている弁財天にお参りをして、地上へ戻り全国でも屈指の「かけ流し湯」白浜温泉の宿に到着。早速湯船に浸りながら旅の疲れを癒して、待望の親睦宴会に臨む。宴席では、歌自慢のカラオケあり、夜の更けることも忘れるひとときが過ぎた。

翌朝は、鮮魚がいっぱい魚市場に立ち寄ってから一路、西国霊場三十三箇所第二番札所「紀三井寺」へと向かう。

寺院の山門で集合写真を撮った後、朱塗りの楼門をくぐり、二百三十一段の急な石段に挑戦。さすが全員が揃って、参拝することができなかったが、境内から眺める和歌浦の眺望は素晴らしい。

春半ばを思わず好天に恵まれたの一日は、和歌山市内の紀州藩五十五万五千石の和歌山城を、車窓から眺めながらの順路を経て、車中でビンゴゲームに興じつつ帰路に向かった。

往路の道路渋滞を避けて、近畿自動車道、名神高速を経て、二月二十三日に開通したばかりの新名神高速道を快走して、無事終了する運びとなった。

来年は、節目となる第二十回目の行事として、趣のある開催をと、参加した皆様から要望され、楽しみな計画が成就できることを願っている。

増収協力金額 百八万円

鉄道博物館の旅

沼津支部長 一見高夫



当支部は、二月二十四日に鉄道博物館への日帰り旅行を実施しました。これは、昨年十月支部大会に講演を依頼したNPO法人日本沼津災害救援ボランティアの会の石川副理事長から提案があり、実施することになったものです。

鉄道博物館に関心のある鉄道ファンと鉄道ブ

口とが話し合う場を通して、OB会員と会員以外の人達との交流も良いのではと実施を決定しました。

私たちは、培ったものを次の世代に引き継ぐ義務もあるのではないかと、大きく云えばそんなところなんです。そこで、役員会で趣旨説明し、支部だより一月号に載せるなど周知を図り、役員はそれぞれの地域でPTAや子供会の役員を介し募集を行いました。しかし、子供たちの団体は既に年間計画があり行事の追加は難しく、団体としての参加はありませんでした。

会員の他に家族等の参加を得て、六十五名大型バス二台となりました。水墨画、気功、俳句などそれぞれの仲間や、息子や娘、外孫などに、鉄道時代の自分の経験などの話をする機会ができ、会員以外との交流という当初の目的の一部は達成できたと思っています。

沼津駅を朝六時半に出発、日曜日とあって東名・首都高速を順調に走り、まず、さいたま市大宮区の氷川神社に参拝しました。その後、大成鉄道村で昼食をとり、鉄道博物館に入場しました。

氷川神社は「武蔵国一の宮」として栄えた神社で、「大宮」の地名は「大いなる宮居」というところから付けられたそうです。博物館内は大盛況でしたので、自由行動とは云えなるべくグループで行動されるようご案内しました。中には大人気の鉄道ジオラマを一時間待ちで楽しんだグループもありました。

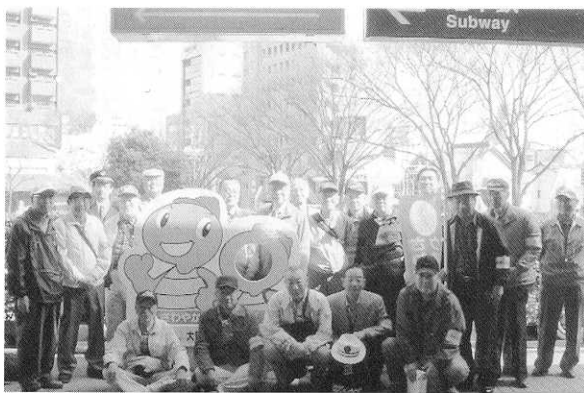
帰路は、ビンゴゲームなどで盛り上がり楽し

い一日を過ごしました。

増収協力額 ジェイアール東海ツアーズ 四十四万円

二〇〇八年春さわやかウォーキング
「みんなで歩こうなごやの道」
〜第二〇回記念旅まつり名古屋
二〇〇八開催イベント〜の
コース案内に参加して

名古屋東・守山・名城東北支部連合



第二〇回を迎える「旅まつり名古屋」を記念して、大曽根駅から旅祭り会場まで史跡や歴史的建造物を巡りながら、一味違ったウォーキングを楽しんでいただ

こうと、好天に恵まれた三月二十二日に行われ、「旅まつり」の人気イベントとで多数の参加者が訪れ、成功裡に開催されました。

コースは、城下町として歴史と文化の香り高

い歴史的な遺産と貴重な建築遺産、沿道の景観と調和した緑道が整備された散策路が設定され、途中「久屋広場」でJR東海主催で開催された人気の高い「旅と宿と人のふれあい旅まつり名古屋二〇〇八」会場に寄るコースとなっていました。

大曾根駅→徳川美術館→市政資料館→名古屋城一周→久屋橋→久屋広場「旅まつり」→東片端→黒門公園→千種駅

この計画を千種駅長からお聞きし、名古屋東、守山及び名城東北支部合同で、今まで同様にコース案内に支部会員が協力させて頂くこととし、当日七時四十分千種駅へ二十名が集合して、コース内の主要ポイント十箇所に分散して誘導案内を行いました。十五時千種駅ゴール受付終了に伴って各ポイントを撤収して千種駅へ集合し、次回六月一日千種駅開催のさわやかウォーキング「恋愛ウォーキング恋の三社めぐり」にも応援することを約束し、十六時に解散しました。

「さわやかウォーキング」で 地元OB会会員が道案内と地元 の歴史紹介で後援

恵那支部 西尾 功

JR東海が毎年開催している、「さわやかウォーキング」は、今年三月二十一日を皮切りに中央線筋で、多治見駅を始め美乃坂本、恵那、瑞浪、武並などの駅を起点として行われています。

四月二十九日には武並駅前を起点として「新緑の東海自然歩道と岩村城下町コース」が開催されました。参加者は千八百七十名とのことです。

このコースは、旧中山道筋の四ツ谷(現武並)から分岐して旧美濃岩村藩城下町を通るもので、昔は大名街道とも言われ、丘陵地の道約十五キロを散策するものでした。

武並駅前から、この地方の高峰夕立山を目指して約一時間半程で広大な牧場が広がる高原にいたります。この辺りから北アルプス御岳山や南アルプス連峰を眺めつつ眼下に広がる岩村盆地を目指して降りること約一時間半で岩村の城下町へ参ります。

恵那支部では、この催しにあたり歓迎の案内板の掲出と「大名街道と鈞姫物語」の歴史由来を記した掲示板を各所に建て、一部の方にはパンフレットを配布しました。

「大名街道と鈞姫物語」のストーリーは次のようなものです。

大名街道は江戸時代、岩村藩城主が参勤交代の際上洛、帰

着に必ず通った道で、現代はこれらの歴史的由来を考えて、東海自然歩道として、文化庁の指定を得ております。

この街道筋は、豊かな森林地帯で森林浴等自然環境に恵まれており、山頂一帯は広大な放牧場があり、北アルプス御岳山、南アルプス連峰の遠望や、眼下には阿木川ダム湖や岩村盆地のどかな風景を楽しませてくれます。

鈞姫は、尾張徳川家藩主齋辻(なりたか)の四女として天保十四年七月二十五日に生まれ、明治四年に岩村県知事(旧岩村藩主)松平乗命に嫁がれた。岩村藩は小藩ながら譜代大名でかつ親藩であり家柄としては不釣り合いではないにしても、なにせ石高六十二万九千石と三万石の相違があります。

岩村藩では恐縮遠慮して、嫁入り道具は風呂敷包みのみにされるようお願いしたが、その風呂敷包みを十日間送り続けられたと史実に残っています。

そのお姫様は、美人薄命の謂れのごとく三ヶ月に満たぬうちに鬼籍になられ、「清月院殿徳川氏諱鈞墓」の戒名で岩村町岩村駅付近の隆嵩院に葬られています。

私たちが勤めていた国鉄当時の営業活動と比べ、今日のJR東海が行っている営業活動は、随分様変わりようです。さわやかウォーキングにしても鉄道と住民の繋がりを思うと、効果の大きい催しだと思います。また、かつて国鉄明知線の明知鉄道株式会社もこうした催しで、



大きな恩恵があったことと思います。
 こんなことを思いつつ、JR東海の行事に
 鉄道OB会の会員として傍観していられず、微
 力ながら応援しました。

東海鉄道OB会
静岡地方本部総会開催

静岡地方本部事務局長 白井 康雄

五月三十日(金)十時三十分から、東海鉄道
 OB会静岡地方本部総会が、静岡駅南口東海軒
 会館において、二十六支部支部長、事務局長等
 五十四名の出席を得て開催した。

まず、物故会員二百十一名に対する黙祷、続
 いて小尾本部長が挨拶し「東海鉄道OB会」に
 なって四年目を迎え、高齢者の雇用制度充実の
 もと、「専任社員」制度導入により、JR退職
 者の加入が更に難しくなり、参加しやすいOB
 会づくりが必要である。また、年金特別便に対
 する留意点の解説及び公的年金の旧法適用(昭
 和三十一年六月以前の期間)の政府援助が少な
 くなることから、給付減がなされる動向を解説
 し挨拶とされた。
 今回は、ご来賓として、JR東海静岡支社石津
 支社長を始め申山管理部長、坂口静岡駅長、JR
 東海ツアーズ稲葉静岡営業部長及びJR貨物東海
 支社北原静岡支店長の皆様のご臨席を戴いた。



来賓を
 代表して、
 石津静岡
 支社長か
 らJR東
 海の現況
 に触れた
 後、昨年
 十二月に
 発表され
 た「自己負
 担を前提
 とした、
 首都圏、
 中京圏を

超電導リニアで結ぶ東海道新幹線バイパスの推
 進」等の説明をされ、OB会に対する激励と関
 連企業を含めた、OB会の協力方を依頼され
 挨拶とされた。

その後、地方本部事務局長の司会で議事に入
 り、平成十九年度事業報告及び決算書を説明し、
 内藤会計監査員より監査報告を受け承認された。

続いて、平成二十年度の運動方針として従来
 のものに、今年度は特に①会員相互の親睦、支
 部活性化に、協力頂ける会員の配偶者への参加
 勧誘、②さわやかウォーキングへの積極的参加
 とコース案内等の協力を加えた案をかかげ、こ
 れに伴う予算を説明し承認された。

さらに、地方本部長は任期満了については、

東海鉄道OB会四年目に向け、会員増強に取り
 組むためにも現体制でいくことが欠かせないと
 して再任され、満場一致の拍手で承認された。
 引き続き、五月二十日に行われた東海鉄道
 OB会本部長表彰の紹介に続き、当日出席で
 きなかつた三島支部武井秋雄会員、上伊那支部
 雙松繁一会員に対し、小尾地方本部長から会長
 代理で表彰状が伝達され総会を終了した。
 続いて、望野健吾富士宮新支部長の乾杯の音
 頭で昼食・懇談に入り、年金問題やOB会活動
 などについて和やかに歓談が交わされ十三時盛
 会裡に散会した。

平成二十年 春の生存者叙勲受章者

東海鉄道OB会員で、平成二十年春の生存
 者叙勲を受章されたのは、次の五名の方です。
 おめでとうございました。

- 瑞宝双光章 早野 茂(西濃支部)
- 瑞宝双光章 藪崎 金司(焼津支部)
- 旭日单光章 荒川 喜一(名古屋工場支部)
- 瑞宝单光章 唐沢 重文(静岡支部)
- 瑞宝单光章 南川 彰(桑名支部)

● **本部事務局からのお知らせ** ●

本部事務局にメールアドレス
 の設定を、会報第十三号でお知
 らせしましたが、再度お知らせ
 しますので、ご確認のうえ気軽
 に投稿や意見をお寄せください。

メールアドレス
 cjrob-1@walt.ocn.ne.jp
 cjrob-2@walt.ocn.ne.jp
 cjrob-3@walt.ocn.ne.jp

JR東海ト

ピックス

東海鉄道事業本部

在来線車両の

安全性向上改造工事完了

JR西日本福知山線事故以降の一層の安全性向上策として、当社の運転台のある全ての電車・気動車834両に、安全性を向上させる4つの機能(※)を設置しました。

設置に当っては313系新製車両の投入に加え、702両に改造工事を実施しました。特に改造工事においては約2年と短期間でしたが、各工場、各車両

区などの力を結集し、ベテラン社員の指導のもと若手社員を中心に予定通りに施工を進め、JR他社に先駆けて3月までに全工事を完了しました。このたび最終の改造車両が出場するのに合わせ、3月28日に名古屋工場で、3月31日に浜松工場で行われ式典が行われました。

在来線では、さらなる安全向上の取り組みとしてATS(自動列車停止装置)を

安全性向上工事完遂式



▲安全性向上工事完遂式(上:名古屋工場、下:浜松工場)

より保安度の高いPT型に取り替える工事を平成23年度までに完了させるなど、今後より一層安全性向上策の充実に向けた取り組みを行っていきます。

(※)4つの機能…運転情報記録装置、防護無線バックアップ電源、緊急列車停止装置、緊急防護装置

静岡支社

身延線全通80周年

記念臨時特急運転

3月30日、身延線(富士〜甲府間)は昭和3年の全線開通から歴史を重ね、80周年を迎えました。

当日は、記念臨時特急「80周年みのぶ号」を静岡〜身延間で一往復運転しました。静岡駅、身延駅両駅で出発セレモニーを開催し、多くのお客様に祝福していただくとともに、ご乗車のお客様には記念コインと乗車証明書を配布し、好評を得ました。また、同日、身延駅主催の記念さわやかウォーキングも開催し、約1400名のお客様が参加され、ちよ

うど満開の身延山のしだれ桜を堪能いただきました。

昨年12月から全通80周年を記念し、「ありがとう」の気持ちを乗せて80年。」「キャッチフレーズのもと、「身延線沿線の温泉スタンプラリー」、「身延線沿線の思い出フォトコンテスト等、記念キャンペーンを展開し、本格期の3月は「身延線乗り放題きっぷ」も発売しました。これら一連のキャンペーンにより、あらためて広く身延線の魅力を訴求できました。

今後も富士山、身延山、自然、温泉等、豊富な沿線の観光資源を積極的にPRし、身延線の活性化を図ってまいります。



▲静岡駅での出発式の様子



▲運転士への花束贈呈



▲記念さわやかウォーキングの様子

◆ JR 東海トピックス ◆

事業推進本部

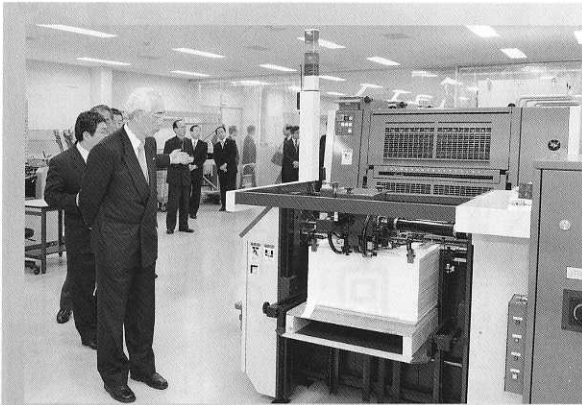
障がい者とともに印刷・封入事業を行う会社 (株)ジェイアール東海ウエルが 本格的に営業開始

様々な障がいを持つ方々を雇用し、印刷や封入業務を行う株式会社ジェイアール東海ウエルがこの4月1日から本格的に営業を開始しました。社員は障がい者15名、健常者12名の27名体制でスタートしています。

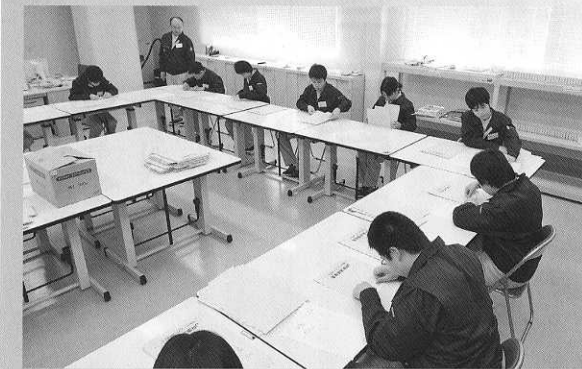
本格的営業開始に先立ち、3月26日には松本社長をはじめとする当社幹部やこれまでお世話になった企業の方々をお招きして開業セレモニーを行うとともに、地元町会長など多くの方々にも入社前研修を一生懸命行っている内定者(現社員)の研修風景をご覧いただきました。

社内誌「おれんじ」も4月から同社で働く知的障がいを持つ社員が封入し、発送しています。また、社内の印刷物や駅などに置かれるポスター・パンフレット類についても、同社で聴覚障がいを持つ社員が扱ったものがだんだん増えていく予定です。

当社としても同社の事業の安定及び発展を支援することにより、一層の障がい者雇用と障がい者に対する理解の促進を図っていきたくと考えています。



▲松本社長の視察の様子



▲封筒へのラベル貼りの様子

静岡支社

運用の効率化、レール輸送・車両検査作業の効率化を図る

レール運搬用気動車 完成

在来線では軌道保守の一環として、年間約190kmのレール交換を実施しています。

その交換用レールを輸送する手段として、この度、日本初となる気動車タイプのレール運搬車を導入することとなりました。

このレール運搬車には、走行しながらレールを卸す際に車体を安定させる機能や一定の低速で走行する機能などの新機構を採用しています。

これより、機関車の入換作業が不要と

なる他、旅客列車に近い速度(積車95km/h・空車110km/h)で運用できるため、運用の効率化が図れるとともに、レール輸送作業や車両検査作業の効率化が期待できます。

定尺レール運搬用車両は12月に完成し、約3ヶ月間の性能確認試験を経て4月より運用開始しました。また、ロングレール運搬用車両は3月に完成し、現在性能確認試験を実施しており、7月から運用開始予定です。



▲レール運搬用気動車

◆ JR 東海トピックス ◆

東海道新幹線
21世紀対策本部

東海道新幹線バイパスについて

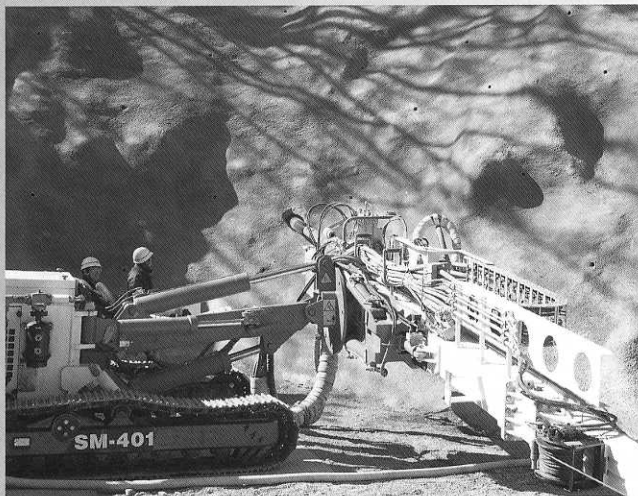
新たな取り組みを開始

当社は2月末、超電導リニアによる東海道新幹線バイパスの実現に向けて、次の2つの取り組みを開始しました。

1つ目は、南アルプスにおける水平ボーリング調査です。全国新幹線鉄道整備法に基づく地形地質調査については、これまで広範な地域で十分な調査を行い、ほとんどの地質を把握しています。南アルプスについても、すでに地質の大半を把握していますが、今回の調査によって最終的な確認を行います。これに

より地形地質調査の報告に必要なデータは今年中に取得できると考えています。

2つ目は、「東海道新幹線バイパス工事費削減委員会」の設置です。バイパスについては、調査の深度化や実験線延伸などの工事を進めていきますが、自己負担を前提としたプロジェクトですので、全ての場面において、それぞれの工事費やコストを圧縮することが重要な課題です。このため、社内に委員会を置き、徹底的にコストを圧縮して進めます。



▲南アルプスにおいて水平ボーリングを開始



静岡支社

3月1日供用開始

島田駅橋上駅舎化

3月1日、島田駅橋上駅舎化工事が完了し、同時に施工した南北自由通路とともに供用を開始しました。

東海道本線・島田駅は静岡駅から西へ普通列車で30分弱、静岡県のほぼ中央部に位置する島田市にあります。駅の南約1kmのところに大井川が流れ、周辺は運動公園や世界一長い木造橋としてギネス

にも登録されている蓬萊橋があるなど内外から人が集まる憩いの場となっています。

今回の改良工事は、自由通路の新設にあわせて駅舎を橋上化するもので、きつぷりばや改札口、駅事務室などを刷新した他、エレベーターやエスカレーター、多機能トイレの設置などバリアフリー設備の拡充を図っています。

供用開始に先立つ2月28日には、南北自由通路開通式典・駅舎内覧会が開催され、当社からも石津静岡支社長並びに関係者列席のもと、自由通路と新駅舎の完成を祝いました。



▲▼ 橋上駅舎化工事が完了した島田駅



▲2月28日に開催された南北自由通路開通式典の様子

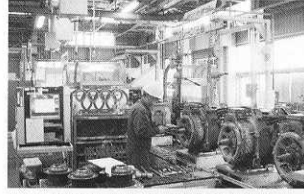
///グループインフォメーション

安全・安定輸送に貢献
CKK 東海交通機械(株)

当社の業務は、車両と機械の両部門を受けもっており、JR東海エリア内の鉄道車両と機械設備のメンテナンスを主体に行い、新幹線、在来線及び山梨リニア実験線で東京から新大阪の主要な地区及び山梨に事業所を設けています。

車両部門では、新幹線車両や在来線車両の検査・修繕・改良工事の他、部品新製も行っており、平成18年から投入された313系電車の腰掛、蛍光灯、配電盤等の部品を製作。現在は、N700系新幹線電車の腰掛、蛍光灯、グリーン車用電照広告灯等を製作しています。また、山梨リニア実験線ではリニア車両、地上コイル、機械設備などのメンテナンスを行っています。

機械部門では各駅の券売機、改札装置、エレベーター、空調設備、新幹線駅可動柵など駅設備の新設・改良工事、保守点検業務や機械設備維持



▲新幹線電車主電動機検修作業



▲スプリンクラーの点検・調整

管理受託を行い、24時間対応で故障受付を行うコールセンターを設置しています。出改札設備では、一昨年11月から導入したTOICAカードに携わり、駅業務機器を社内に設置してシステムの判定試験を行い、更にEX-ICサービス化対応工事に取り組みました。

当社では、すべての業務において、鉄道をご利用いただくお客さまを常に意識し、その上で基本動作に則った責任ある業務を遂行することとして、「お客さま第一運動」を実施しています。“お客さまを意識してワンランクアップの仕事しよう”をスローガンに、JR東海グループの一員としてJR東海の安全・安定輸送の一翼を担うため、鉄道車両と機械設備の両部門で品質の向上と業務の効率化に取り組んでいきます。

ホームページ <http://www.t-ckk.co.jp/>

線路を根幹で支えるチカラ
日本機械保線(株)



▲線路のゆがみを直す保線用機械



▲ドクターイエロー



▲ドクター東海

線路はお客さまを乗せた列車が通ることにより力を受けると、次第にゆがんだり表面が傷んだりします。そこで登場するのが「日本機械保線(NKH)」です。当社は、大型保線用機械を用いて新幹線や在来線の線路のゆがみを直すことにより乗り心地を良くしたり、傷んだレールの表面をグラインダーで磨いたり、新しいレールを運んだりしています。

また、皆さんご存知の線路のお医者さん「ドクターイエロー」、「ドクター東海」による線路のゆがみ等の測定、保線用機械の検査・修繕、線路に関わる技術調査・開発まで、昭和42年の会社設立以降徐々に業務内容を拡大し、現在ではJR東海の保線関係業務を幅広く担当しています。

社員の技術教育や各種研修、技術研究活動や小集団活動にも力を注いでおり、たいへん活気にあふれた会社です。今後も社員一人ひとりが、安全を第一に無事故・無災害に努め、自らの仕事に誇りと責任を持ち、安全・正確・快適輸送への貢献に取り組んでいきます。



▲保線用機械の検査・修繕作業の様子



▲社内研修の様子

今よりも 他社よりも
JRTC ジェイアール東海商事(株)

昭和63年3月に設立して以来、JR東海への燃料油・工事事業資機材・諸用品の提供を事業の柱に、グループ会社への什器・備品などの販売を行ってきた当社は、この3月で創業20周年を迎えました。

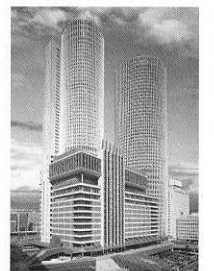
近年、インターネットの普及により、お客さまとの間の取引形態は大きく変化してきましたが、「良品を」・「より安く」・「タイムリー」という営業方針は堅持しつつ、各種商品の安定供給に向け日夜努力しているところです。

食品関係では、飲食料品、畜産物及び加工品など各種食材を取り扱っています。これらの食材は、新幹線・在来線特急の車内販売、駅売店で販売されている駅弁用食材として使用され、また、グループ会社が運営するホテル内レストランや駅構内の飲食店向け食材として供給しています。

土木建築資材の販売では、鉄筋・生コンなどの基幹工事材料に加え、



▲「@オフィス」を含めたオリジナルカタログ



▲外壁に「ミノアール」を使用しているJRセントラルタワース

“ミノアール”美濃焼CTタイルの販売を行っています。この陶磁器質タイル“ミノアール”は、汚れを防ぐことはもちろん、空気をきれいにする効果をもつタイルとして、セントラルタワース12F・13Fの床面やオフィスビル、マンションなどの壁面等に建築資材として使用されています。

その他、事務用品などをFAX発注により、迅速にお届けするサービス(@オフィス)やJR東海の各種工事に使用する資機材の電子調達システムの運営管理などを行っています。

今後とも、廉価で高品質な商品の安定供給を通じ、グループ事業の発展に寄与できるよう取り組んでまいります。

ワイドビューで
連れてって!



ここは、とびきり
素敵な近場です。

木曽路フリーきっぷ KOSO

木曽路体験

キャンペーン期間:平成20年7月1日~8月31日

**5,000円分の木曽路
エンジョイチケット付!**

指定のバス、タクシーがご利用いただけます。

観光施設割引特典付!

「かえり」のきっぷを協賛施設で
ご利用いただくと割引特典が受けられます。

指定観光施設共通入場券付!

指定観光施設(15施設)に
無料で入場できます。

特急「しなの号」または
普通列車をご利用できます。



利用期間 平成20年7月1日(火)から通年 (ただし、4月27日~5月6日、8月11日~20日、12月28日~1月6日はご利用になれません。)

発売期間 平成20年6月23日(月)から通年 | **有効期間** 3日間 | **発売箇所** 名古屋地区周辺のJRの主な駅及び主な旅行会社の支店・営業所



| おねだん(おとな・子ども同額) | 1人用 | 2人用 | 3人用 | 4人用 |
|-----------------|--------|---------|---------|---------|
| 名古屋市内 | 9,200円 | 12,200円 | 15,200円 | 18,200円 |

三河エリア発、岐阜エリア発、四日市エリア発の木曽路フリーきっぷもあります。

きっぷの 特徴

1. 発駅からフリー区間までは、特急「しなの号」普通車指定席を往復ご利用できます。
2. フリー区間内は、特急列車の普通車自由席または普通列車の普通車自由席が有効期間内に限り、乗り降り自由です。
3. 乗車整理券を必要とする列車にご乗車の場合は、別途お求めください。
4. 2人用~4人用は、グループ全員が同一行動をする場合に発売します。
5. フリー区間以外では途中下車、乗車変更はできません。
6. 各種割引証による取り扱いはできません。
7. 払い戻しは、全券片未使用で有効期間内に限り、発売箇所で行います。
8. ご利用人数の変更の場合は、お手持ちのきっぷを払い戻し(人数分の手数料がかかります)のうえ、あらためて人数用のきっぷをお求めいただくことになります。

※詳しくは、駅・旅行会社におたずねください。



読者のひろば

月一ゴルフ「つばめ会」の開催回数 が何と三五〇回

静岡地方本部内 つばめ会事務局長 興津一弘

ゴルフをこよなく愛する鉄道OBの仲間が、鉄道人であるが故に「特急つばめ号」の名称を拝借し「つばめ会」と名付けて発足したのは大分昔の事で、昭和五十年代に入る頃ではないかと思われます。残念ながら今となっては発足当時の経緯を知ることはできませんが、懇親と健康で若さを保つ事を目的とし開催されたこと、そして、その目的を踏襲して、現在活発に月一ゴルフを展開しております。



現在、二代目の事務局長が先人の意志を引き継ぎ、月一の開催に固守しその開催回数が今年三月何と三百五十回の節目を迎え、その節目の記念大会が三月二十五日に十七名の参

加で開催しました。

一年十二ヶ月、雨の日は中止しますので、年間十回実施したとして三十五年間続いている事になります。こんなに永く続いているゴルフコンペも珍しいのではと思います。

現在の会員は、八十六歳の最長老を頂点に八十年代、七十年代、六十年代と国鉄OB、JROBの仲間二十五名が和気藹々元気にプレーしています。毎月三〜四組(十二〜十六名)が参加し技量を競い、上位の賞品を目指して楽しい争いが緑の芝生の上で展開されています。

ゴルフ場側も毎月一回、永年の大切なお客様、節目の大会には賞品等提供して戴き好意的に「つばめ会」を歓迎しながら見守っておられるのが現状です。毎回の組み合わせ表の裏面には、技術向上の糧にと、プロのワンポイント助言があります。例えば「ショートアプローチは」、「バンカーショットの基本は」等が印刷されており、プレー前の一時熱心に見入る人も目にします。

ゴルフを楽しむ体力は、日常生活の中から生まれるのか、いやいや、ゴルフのお陰で若さを保ち、活力ある生活が保たれるのだと、その辺の論議はさておき、いずれにしても、加齢に伴い足腰の衰えをカバーし、太陽をいっぱい浴びてゴルフを楽しむことに感謝し、体力維持に努め、迫りくる老化を少しでも遅らせ、何時までも元気でプレー出来る事を願って参加しているOBには、年齢より若さがあり、色艶も良く、今後もこの回数が益々延びていく事は間違い

ないものと思っております。

東海鉄道OB会報を愛読されている諸兄、趣味でゴルフを楽しんでおられる貴方、是非「つばめ会」で一緒にプレーしませんか。

防空監視哨勤務の回想

上伊那支部 宮坂健吾

昭和十八年(一九四三年)一月中旬、念願であった鉄道員に採用された私は、甲府駅に配属されたので、三日間、三時間半程かけて自宅から通った。

しかし、通勤はできないので、近々現地の独身寮に入寮を指示された。ところが翌日出動した途端上司から、小海線の清里駅に転勤を指示され、即時赴任することになった。

余りにも突然のことであり、清里駅といわれても全く見当もつかないのでただおろおろするばかりであった。

幸い先輩が細かく指示してくれたので、私は小淵沢駅で乗換え初めて小海線の車中の人となった。

ところが折悪しく、この頃から俄に雪が舞い始め、見る間に窓外は吹雪となっていました。一方私が乗車した車輛には、藁靴ですっかり身支度をした乗客が三人程乗っただけで発車した。

列車は喘ぎ喘ぎ八ヶ岳山麓に向かって、次第に物憂いた林の中に入っていくので、一人淋しさに駆られたことが忘れられない。

約五十分程して清里駅に着いたので、一抹の不安に戦きながら駅舎に入ると、燃えさかるストーブの傍らに私を引入れ、快く新人の私を迎えてくれたのは好々爺の駅長であった。

この心温まる応接に接した途端先程までの私の心

のわだかまりがすっかり消えた。

ところがこの時、私がこれからお世話になる職場は、この駅ではなく、この駅長が兼務で管理している防空監視哨舎であることが分かった。哨舎はこの駅から西方二百米程隔った線路脇に在った。

憧れてきた駅員のイメージとは打って変わった現実に、私は何ともいえない衝動に駆られた。しかし思考すれば大戦の最中であり、国策さらには国鉄の自衛上からも欠くべからざる施設であった。

このための名古屋鉄道局管内唯一の施設が、この清里駅防空監視哨舎であった。

従って、私の鉄道員としてのスタートは、運輸業務ではなく防空監視であった。このため来る日も来る日も一昼夜交代勤務で、哨舎二階の廊下を廻り、一刻も早い爆音のキャッチと機影の現況を即刻所管の運行係に通報することに専念した。

ところで回顧すれば昭和十九年の真冬、海拔一、二七〇余米の八ヶ岳山麓に位置し、連日酷寒に喘ぐ私たちの職場を激励に訪れて頂いた時の名古屋鉄道管理局のご厚意は、今もって印象に残る懐旧である。

顧みて私は、若き日憧れた鉄道に就職し、以来三十有八年転々と数多くの職場でお世話になったので、何れもその懐旧は尽きないが、取分け就職早々勤務したあの防空監視哨舎での諸々の回想は一人である。

小説 鉄道OB会支部長「覚書」

垂井支部 平井義朗

今年は正月過ぎてから雪の日が多い。今日も朝から雪混じりの雨が降り、そのうえ横面を張り飛ばすよう

な強い風が吹き荒れていた。

何をするでもなくホームコタツに入ってたただぼんやりとテレビの声を聞いてうとうととしていた。

昼過ぎになって風がおさまってきたので、このところ気になっていた会員の前川君を見舞いに出かけることにした。

彼は去年の夏、脳溢血で倒れたのであったが、正月前には温泉病院から戻ってきているはずであった。かなりの重症であったようで入院中は面会がかなわなかったが、戻ってきているのならかなり回復して元気になっているものと思っていたのだが。

しかし、応接間に案内されたものの彼は姿を見せることはなかった。

「本当に申し訳ありません。折角お越しくさいますしたのに、主人は情けない姿は誰にも見せたくないから貴方にも会いたくないと申しております。我儘な主人をどうぞお許しください。」

「そうですね。彼はまげず嫌いで気位の高い男でしたから会いたくないと言うのも無理はないですね。私のことなら気にしないでください。そんなに恐縮しないで下さい。ところで彼の回復の具合はいかがですか。」

「少し自棄になっているみたいなのです。温泉病院でのリハビリの結果が思わしくなかったものですか。いろいろいらしているのでしょうか。」

「どちらが不自由なのですか。」

「左半身です。右も多少痺れがあるようですが、左手足はほとんど自由になりません。話はどうにかできるのですが食べ物や口の中うまく入らないのです。この間もおうどんが口の端からこぼれてしまい腹をたてて井をひっくり返して、口惜しいと怒って大変でした。」

「リハビリはどうしているのですか。」

「温泉病院でもうまくいかなかったものですから、

もう駄目だ治らないといってお医者さんからいろいろ言われても私たちがすすめても、何もしようとしません。いろいろして怒ってばかりなのです。近頃は孫たちからもすっかり嫌われてしまっています。」

「そうですね。ところで好きだったお酒は？」

「退院するまでは我慢していたのですが、しばらくしてどうしても飲みたいと言うものですから、娘たちは大反対でしたが、私が負けてしまつて買って来てしまったのです。でも不思議なことですがお酒は口からこぼれないのです。夕食の時コップの半分ぐらいを舐めるようにゆっくり飲んでいきます。安いお酒でいいからと言って遠慮しながらも毎日飲んでいきます。お酒だけが楽しみなのです。」

前川宅を辞しての帰り道、彼がゴルフで見せた負けん気と気位の高さを思い出していた。

最初のゴルフで数え切れないほどの大叩きをした後、「ゴルフはやらない。惨めだからもう誘ってくれな。」と言った。

それから一年いくら誘っても付き合うことはなかった。

しかし、しばらくして誘ってみたら、そんなに言うならと意外にも参加してきた。

その日スタートしてすぐにびっくりするほど上手くなっていることに驚かされたが、あがつてみたら私たちは一〇〇をはるかに超えるスコアなのに、彼は八十七で廻ってしまった。後で知ったことだが彼は一年間コーチについて練習を重ねていたのだ。

そんな彼のことからこつそりこつそりとリハビリに励み、完全復活の姿になるまでは誰にも会わないのだろうと思ってもみたが、奥さんのはなしの様子からはそうではないようだ。

それから二月に入って再び見舞いに訪れてみたがやはり彼は姿を見せることはなかった。

相変わらずリハビリもしないでいらいらした毎日を過ごしているようだ。

新潟の友人に頼んで送ってもらった銘酒「越乃寒梅」と藤沢周平の小説「三屋清左衛門残日録」を奥さんに託した。

玄関を出るとそこに彼が大事にしていた数鉢の盆梅が蕾を一杯に付けて今にもほころびそうであった。

「奥さん彼に梅の花を見てやりなさいと言っておいでください。」と彼のこれからの変化に期待を込めて声をかけた。

それから半月後彼から手紙が届いた。少し弱弱しくはあったが達筆な彼の字体であった。

「梅の花主人に世話してもらえなくても見事な花を咲かせたよ。まるで僕を励ましてくれていたようだ。

二回も見舞いに来てくれたのに申し訳なかった。越乃寒梅本当に美味しかった。久しぶりの味だった。味覚を失っていないことに感謝している。

藤沢周平読んだよ。君がこの小説を僕に読ませようとした意図がよく分かった。主人公の三屋清左衛門が同年代の中風の友人太塚平八を見舞おうとしたときの一文を読ませることだったと。(……)そうか平八はいよいよ歩く習練をはじめたかと清左衛門は思った。人間はそうあるべきなのだろう。衰えて死がおとずれるそのときは、おのれをそれまで生しめたすべてのものに感謝をささげて生を終ればよい。しかし、いよいよ死ぬるときまで、人間はあたえられた命をいとおしみ、力を尽くして生き抜かねばならぬ。そのことを平八に教えてもらった清左衛門は思っていた。(……)

何度も読み返した。感激して涙が止まらなかつた。そしてもう一度リハビリに取り組んでみようという強い気持ち湧き上がってきたのだ。まさしく太塚平八に教えられたということだ。

一週間前から毎日病院に通っている。身体の不自由さはあまり変わってはいないが、気持は不思議なこと

に落ち着いて、いらいらすることもなく怒ることもないので、女房の奴、気持が悪い、仏様みたいになって、お父さんまだ死んじやいやですよなんて言っているくらいだ。

どこまで回復するかは分からないけど、やれることはすべてやってみようとおもっている。本当にありがとう。もう少し待ってくれ、杖を頼りにしても僕の方から行くから。美味しいお酒を飲ませてくれるかい、越乃寒梅のようなとびつきりのお酒でなくいいから。今の気持ちをだじやれの歌にしてみた。

(わが病 何時もお酒の酔い心地 呂律まわらず 手足ぶらぶら)

心配していてくれる皆さんに支部長さんからよろしくお伝えください。頼みます。」

あの気位の高い男が変われば変わるものだ。奥さんの言うようにあまり穏やかになり過ぎてかえって心配になるが多分大丈夫だろうとおもった。

杖を頼りに身体を傾けながら必死の形相で歩こうとしている前川が目の前に現れてくるような気がした。

回想 — 今は昔 徴兵検査 —

西濃支部 澤邊邦雄

昭和十六年三月肌寒い晴れた朝、美濃町役場の二階の広間に集合した我々武儀郡下の徴兵検査受検の若者数十名は、徴兵官の訓示を受けた後、取り敢えず、越中陣にさせられた。時は三月始め、桜にはまだ間がある時期、受検の部屋は小学校の教室二部屋分ほどの広さ、暖房設備としては、一メートル四方の炭火の火鉢が二個備えてあるのみ、と言った有様のため、まずは寒さに震えることとなった。我々受検者の身につけているのは越中陣一つ、しかもこの陣

を前後を逆さに付けて端末を紐にかけさせない状態にさせられたのである。

何のことは無い陣を前掛け状に下腹を覆うように下げたのである。尤も検査の進行中は、コートや羽織ることを許されたので、終始寒さに震えていた訳では無かった。

この日、関係の町村役場からは兵事係、町村の議員、中には町村長、国防婦人会小母さん達、さらに女子青年の娘さん達が見学に来ておって、会場の周辺に人垣をつくっていた。そういう環境の中で、純情無垢な若者が素っ裸にされて、晒し一枚の前垂れだけで検査を受けるのは、如何にも無残なことに思えたが、兵隊検査とはかくなるもの、かつは参加者一同皆同じ条件であることと諦めて、開き直りの気持ちとなったが、ただ女子青年の存在が気にかかったものである。

検査は身長、体重、視力、四肢の屈伸伸長、問診、内診が型のごとく行われ、三十キロ程の土俵の担ぎ上げなどのテストのち最後に、軍医が陰茎をさして性病の有無を調べる。私はつい二カ月前まで、肋膜炎で入院していたため、不合格という恥ずかしい思いをするのではないかと、心配していたが、このころには殆ど普通の健康状態を取り戻していたし、病氣経験の申告をし無い俣であったので、合格の認定を期待していた。

最後の段階で、徴兵官から「甲種合格」と認定されて、自ら「甲種」と、唱えさせられたときは、一人前の日本男児と認められた、との思いで晴れ晴れとした気分となる事が出来た。私と一緒に受検した従弟は第一乙種の合格であった。帰宅の途中、従弟と共に記念写真を撮ったのが、サイパンで戦死した従弟との形見となった。

短 歌

山椒に木の芽起しの昨夜の雨
みどりの蝶の生れし如くに
白梅の花から花へ蜜蜂の
蜜吸う度に花のこぼれる

裾野支部 池谷秀夫

太き麵細き麵とが絡みいて
田舎そば屋の素朴をみおり
ど忘れの名前浮かばず頬を撫で
あご支えつつ時の過ぐまつ

浜松支部 原 哲

席向かふ女子高生に指差して
島田娘の雪形教しふ
鉄道の戦中戦後を語る人
寥寥となり無人駅ばかり

上伊那支部 竹内滋一

七月は吾が誕生日身ごりて
田草を取りし母おし思う
鶏頭花あげて盃蘭盆の火を灯す
思いがつのる遠つ日の父母

津支部 岡 俊雄

寒山寺碑楼にありし石碑みて
七言結句に偲ふ張継
蘇州より無錫へ向うバスの中
無錫旅情の歌も流れる

陶都支部 伊藤博司

後部オーライ最終列車見送れば
空にやさしく十六夜の月

新緑を縫って流れるせせらぎの
音を聴きつゝ、友と酒酌む

守山支部 三浦敏雄

船旅と洒落込んではみたけれど
船酔いきつく難行苦行
無人駅ペットボトルに野々花が
降り立つ人の心なごませ

名古屋機関区支部 服部幸夫

俳 句

水光る田の面一閃つばくらめ
新緑の山裾くの字に貨車の過ぐ

山東支部 久保田かよ子

幾役もこなす駅長花曇
麦の秋参宮線の一両車

津支部 平岡登志雄

満天に星座きらめき露涼し
天の川渡る小舟を捜さねば

名古屋臨港支部 伊藤鈴登

山裾は雨の中なり草萌ゆる
木の芽出で力秘めたる雑木山

浜松東支部 大倉照二

久々の孫への便り花入れて
ふる里に続く夏空父母の墓

春日井支部 秋田濠子

古い進む春愁飛ばす嵐かな
東風吹きて古刹の修理終えにけり

西濃支部 高畑正良

水芭蕉風が出てきて葉を濡らす
藤色の間近かに寄れば藤明かり

津支部 濱口義徳

金棒にぶら下がるだけ春が行く
一人居の婆さん元気燕くる

津支部 奥村大喜男

滴れる熊野古道の石畳
夏の川涸れて破舟の錆深し

津支部 坂口 守

川 柳

内角を抉る言葉を受け流す
年輪の醸す自然の役どころ

岐阜工事局支部 弓桁英二

四コマの笑いでとけた今朝の鬱
負けるのも勝つのも娑婆のお付き合ひ

美濃太田支部 三島次朗

愚痴ることなくて平和な居間の風
晩学の氣迫は負けぬ一行詩

大府支部 藤井芳雄

駅探訪

御殿場線 いわなみ 岩波駅

●開業 / 明治19年12月8日
●所在地 / 静岡県裾野市岩波

右手車窓いっぱい広がる富士山を眺めながら、東名高速道路の下をくぐり抜け、南御殿場、富士岡へと下る。左手に見える黄瀬川に沿うようにして列車は進み、愛鷹山が見えてくると岩波。岩波から先は、前方に伊豆の天城連山、さらには駿河湾を望めることもある。ほぼ並行する国道246号線沿いには、自動車関連部品・電子部品の工場や印刷工場が建ち並び、御殿場線沿線は田園風景が続く。



岩波駅は、かつてスピードの遅い上り貨物列車の待避用スイッチバックがあった場所に、単線化後ホームが設置されてきた。その後、勾配途中でも停車、発進が可能となった列車のディーゼル化に伴い、スイッチバック方式は廃止された。なお現在の駅舎は、1989年に建て替えられたものだが、折り返し線の土盛りはスイッチバック配線の遺構として残っている。

黄瀬川の支流・佐野川にある景ヶ島渓谷は、岩波駅の南西方面に位置する名勝。富士山や愛鷹山の噴火による巨大な溶岩が長い年月をかけて浸食され、奇妙な形へと姿を変えた。屏風岩と呼ばれる谷壁など変化に富んだ渓谷は、自然の雄大さを感じることができる。

駅から北へ車で5分のところにある、御殿場高原時の栖を訪ねる。広大な敷地内にホテル、レストラン、ビール醸造所、温泉施設、サッカー場、美術館など見所盛りだくさんの一大レジャー施設だ。地元の木彫師・前島秀章氏の作品を展示した木のぬくもりにあふれた美術館を見学した後、陶器の手作り体験をし、ゆったりと時間が流れるリラクゼーションルームで心身ともに癒された。散策スポットの数々を歩いて楽しむもよし、レンタサイクルでまわってほしいだろ。

駅探訪は、JR東海の社内誌「おれんじ」5月号から抜粋し再構成したものです。

「会報への寄稿、文芸欄への投稿」要領

1 「表紙写真」

会報誌の表紙に掲載する写真を会員から募集しております。表紙の写真が会員からのものでなくては会報誌としての意義がありません。応募写真は、それぞれの会報誌発行時の季節にあつたもので、画面に列車等が入っていないくても結構ですが、JR東海エリア内のもを希望します。カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジカメデータ（解像度A四サイズで三〇〇DPI以上）送付別紙に所属支部、氏名、住所、電話番号を記入し添えて下さい。なお、複数ご応募いただいた場合には会報編集委員会にて採用選考させていただきます。また、お送りいただきましたもののうち、ポジフィルム、デジカメデータ記録媒体については、後日お返しいたします。

2 「支部だより」

OB会活動の原点は支部における活動であります。今後さらなる活性化のため、お互いにそれぞれの支部の運動方針や活動状況等を参考のために是非投稿して下さい。なお、支部総会、支部クラブ活動、会員交流会、増収協力旅行、清掃美化運動、事故防止運動等支部からの「たより」を随時受付いたしております。テーマ、内容等は自由ですが、六百字目途にまとめ、執筆者氏名を明記し、状況のわかる写真をできるだけ一枚添えて下さい。

3 「読者のひろば」

会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受付けています。テーマ内容等は自由ですが、千二百字以内、挿絵、写真等の掲載希望はい

ずれか一枚以内とし、所属する支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

4 「絵手紙」

会員からの「絵手紙」を随時受付けています。色彩が鮮明なもので会報発行時の季節にあつたものを歓迎いたします。応募年月日、所属する支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

5 「短歌、俳句及び川柳」

会員からの「短歌、俳句及び川柳」を随時受付けています。応募は、会報発行毎に、一名種別ごとに官製葉書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内の限り、会報誌発行時の季節にあつたものとし、冠部の「短歌」「俳句」「川柳」と朱書し、応募葉書には、応募年月日、所属する支部、氏名（本名を記入する）及び住所、電話番号を明記して下さい。

6 「掲載要領」

寄稿又は投稿された作品等は順次会報に掲載いたしますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節に合わせるなどして、掲載が遅れる場合がありますから、ご承知下さい。なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。

7 寄稿及び投稿先

〒四五〇一〇〇〇二
名古屋市中村区名駅三十三一十二
キヨスク名駅ビル内
東海鉄道OB会・会報編集係宛

編集後記

会報第十四号(七月号)の編集と今後をお願い今回から前任の杉浦に代わって編集を担当させていただきます。未熟者ですがよろしくお願ひします。
平成二十年度東海鉄道OB会本部の表彰式及び総会の紹介と各支部の総会の概要も多く投稿いただきましたので、二十頁に増刷しました。

一 東海鉄道OB会表彰式と総会の概要

今年度の東海鉄道OB会の基本方針が総会で承認されました。会員の大層な減少が続く中で、東海鉄道OB会として何をすべきかを重点的に考えた内容となっております。JR東海のご協力をいただきながら実施していきますので、会員の皆様にもよろしくご協力をお願いいたします。

二 新会長を迎えて

齋藤会長が退任され、新たに石塚会長が選任されました。新会長のご挨拶は次号で掲載します。

三 各地方本部及び支部の総会の概要

四〜六月は各地方本部、支部で総会が開催されております。各地方本部の総会の概要と一部支部の総会の概要等については今回間に合わなかったため、次の号で掲載することとします。

四 地本・支部だより

紙面にゆとりができたため、今回は七ページに亘って活動状況をお知らせすることができました。JR東海さわやかウォーキングのお手伝いでは、今回初めての支部のほか、名古屋市の三支部合同で参加したのが目を引きまます。参考にしたいだければと思います。

五 読者のひろば

毎回お願いしているところですが、六十歳代の会員と遺族会員、準会員の方々の投稿を期待しております。

(中川)

発行 千四五〇一〇〇〇二
名古屋市中村区名駅 三丁目十三一十二
キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会本部
発行人 中川博行
電話 〇五二一五六二一六〇八〇 (FAX兼用)